



野菜づくりについて話す 鶴頭さんと小田川 清農業委員

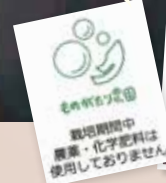
つるとうこう たろう 鶴頭幸太郎さん (三刀屋町)

鶴頭さんは、島根県立農林大学校を卒業後、市内の農業関係の事業者へ勤務の傍ら、木次町内にある約70aのほ場で出荷用野菜を育てています。少量多品目栽培により、四季を通じて収穫したさまざまな野菜を、「たんびにきて家（道の駅さくらの里きすき）」、「木次とれたて市場（Aコープきすき店）」や「道の駅たたらば壱番地」などの直売所へ出荷されています。

野菜づくりのこだわりのひとつに、病害虫の発生タイミングを研究し、夜間に虫除けをするなど、日々、試行錯誤しながら農業に取り組まれています。

「手間はかかるが野菜づくりは面白い」と話す鶴頭さん。今後は、専業で農業に取り組み、栽培期間中は農薬や化学肥料は使用しない有機農法により栽培した野菜を出荷していきたいとのこと。

ありふれた
物語でいい、誰かに
届くものがたりでありたい
とのコンセプトで作った
お手製のシールを貼って
出荷します



新年のご挨拶

雲南市農業委員会 会長 加藤 一郎
かとう いちろう



新年あけましておめでとう
ございます。

日頃より、当委員会の活動
に対してご理解とご協力を賜
り厚く御礼申し上げます。

さて本市においても、高齢
化や担い手不足による遊休農地の増加、夏場の異
常高温による農作物への悪影響、イノシシやサル
などの有害鳥獣被害の増大のほか、さらには生産
コストの増大を農畜産物へ価格転嫁がでない状
況などが続いています。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況
が続きますが、いよいよ令和7年4月には、雲南
市においても地域がめざす農地利用の姿を具体化
する「地域計画」がスタートします。

農業委員会としても、この計画策定にあ
たっては、農業者の皆さんからの意見もいただき
ながら、目標地図の素案作りを進めてきたところ
であります。

また、地域農業が持続的に発展し、安定的な経
営につながるために必要な事項や施策の充
実等の農業振興施策に関する意見を取りまとめ、
雲南市へ意見書として提出したところであります。

本年も農業委員会の役割をしっかりと果たし、雲
南市版「地域計画」の実

現に向け、農地利用最適
化の推進に取り組んでま

いりますので、なお一層
のご支援・ご協力を賜り

ますようお願い申し上げ
ます。



農地パトロールを終えて

昨年10月初旬、海潮地区の農地パトロール
を地域の農地利用最適化推進委員の方と3人
で行いました。県道から分かれて谷筋に入っ
ていくと、あちらにもこちらにも耕作できな
くなった土地が見受けられました。近年はイ
ノシシ対策の電気牧柵が張り巡らされ、その
設置・管理だけをとっていても手間のかかる
作業が増えています。谷あいの2畝にも満た
ない狭い水田をきれいに耕作されているとこ
ろもあれば、県道沿いの条件の良い場所でも
1反を越えるほ場をどうにかこうにか草刈管
理でしのいでいるような箇所もありました。
「農地利用の適正化」という言葉があります
が、「担い手への集積」は、厳しい条件を抱
える山間部では容易なことではありません。
子どもの頃は、ほとんどの農家が牛を飼っ
ており、あぜの草はもちろん、道路沿いの草



農地パトロールの様子（海潮地区）

令和6年度 農地利用状況調査（農地パトロール）結果

区分 町名	1号遊休農地 緑区分		2号遊休農地 (低利用農地)黄色区分		合 計	
	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)
大 東 町	0	0	0	0	0	0
加 茂 町	0	0	0	0	0	0
木 次 町	4	3,116	1	2,601	5	5,717
三刀屋町	2	1,558	0	0	2	1,558
吉 田 町	0	0	0	0	0	0
掛 合 町	0	0	0	0	0	0
合 計 (前年比)	6 (7)	4,674 (4,648)	1 (1)	2,601 (2,601)	7 (9)	7,275 (7,249)

1号遊休農地とは・・・現に耕作されておらず(1年以上にわたって耕作されておらず)、
かつ引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地(農地
法第32条第1項第1号)

【緑区分】草刈りや耕起等で直ちに可能となる農地

【黄色区分】基盤整備事業等の整備が必要となる農地

もきれいに草刈りされていましたが、昨今、
牛の工サも必要なくなり、集落での草刈作業
が大きな課題となってきました。
人口減少という時代の流れも相まって、ま
すます農地のありようも変わって来ると思い
ます。折しも来年度に向けて中山間直交付金
や、多面的機能支払交付金の見直し時期に
差し掛かっており、地域計画の作成作業も進
みつつあります。10年後の農地がどうなっ
ているか、どうしたいのか、この冬の期間にじつ
くり考え、集落で話し合ってみることが大切
かと思っています。
(農業委員 佐藤正範)



農地法の許可申請書、届出書の様式は左記二次元コードまたは下記URLに掲載しています。
<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/sangyou/nougyou/nougyouiinkai/2024-0813-1513-71.html>





11月12日、
「しまね農業
委員会女性協
議会視察研
修」が益田市
で開催され、
雲南市からは3人の女性委員が参
加しました。

視察先の松永牧場は昭和48年に
設立され、地元益田市のほか、浜
田市、山口県萩市にある牛舎で約
8千頭の肥育、繁殖牛の経営をさ
れています。

この日は、松永和平代表取締役
から牧場経営の現況、課題、後継
者育成や労働環境の改善に向けた
取り組みなどについて聞かせてい
ただきました。

参加した女性委員からは、事業



食料残渣飼料化
プラントを見学
する参加者たち



▲しまね農業委員会女性協議会の皆さん

継承に向けた取り組みなど、多く
の意見や質問がありました。

今回参加して改めて広い視野を
持ち、前に進んでいく努力を学ん
だ研修会になりました。

(農地利用最適化推進委員
妹尾優子)

11/27

農業者年金加入推進セミナー

「令和6年度農業者年金加入推
進セミナー」が東京都で開催され、
年金制度の詳細説明や加入推進に
係る事例発表などがありました。

特に、社会保険労務士からの、
令和6年の年金給付の財政検証結
果と将来の見通しについて、テレ
ビや新聞でも見聞きする「マクロ
経済スライド」と「所得代替率」
についての解説は、初めて聞くこ
とばかりでした。

また、大分県豊後大野市農業委

員会では、年金講座の開設や農業
担当課からの制度周知などの工夫
をされた結果、特に女性農業者の
加入が増えた事例を発表され、大
いに刺激を受けました。

国民年金だけでは老後の生活が
厳しいとされるなか、雲南市でも
今回の研修を参考にして、工夫し
ながら加入推進をしていかなけれ
ばと感じました。

(農業者年金加入推進部長
高橋一裕)

雲南市地域計画

法改正により、令和6年度中の地域計画の策
定が義務付けられました。

雲南市の農業振興地域においても、高齢化や担
い手不足の進行により、農業者が減少していく中で
耕作放棄地が増加しないよう、10年後の地域にお
ける農地利用の姿を示
した地域計画目標地図
を市全体の計画に併せ、
市内30地域ごとの計画
を作成しています。

今後、策定した計画
は、3月までに公表(告
示・縦覧)を予定して
います。



地域の話し合いの様子

農業者の皆様へ

地域計画策定後(4月以降)は、農地の貸借(売買)が
次のとおりの方法に変更になります。

※3月までに、新たに契約されたり、更新されたりした農地の賃貸借は、
これまでどおりとなります。

詳細は農業畜産課(Tel0854-40-1055)か農業委員会
(Tel0854-40-1092) いずれかにお問い合わせください。

3月
まで

- ①農地法第3条による許可
- ②相対による農地の貸借(農地利用集積計画による賃貸借)
- ③農地中間管理機構を介した農地の貸借



4月
以降

- ①農地法第3条による許可
- ②農地中間管理機構を介した農地の貸借

※農地法第3条に基づいた農業委員会の許可を受けて権利設定を行うこと
は引き続き可能です。

意見書を 提出しました

10月24日、雲南市農業振
興施策に関する「意見書」
を市長に提出しました。

各委員が地域で活動する
中で農業や農家を取り巻く
現状や要望また、今後の農
地の有効利用に向けた農業
委員会活動や、農業振興施
策の改善に向けた意見とし
て次の項目別に提出しまし
た。

- 農地などの利用の最適
化の推進について
- 中山間地域における農
業の継続について
- 農業委員会への活動支
援について



意見書提出の様子



全国農業
新聞

全国農業新聞を読みますか？

毎週発行：月額700円(送料・税込み) 申し込みは農業委員会まで。

うまもん

うんなんの

シリーズ

農業委員会の情報委員メンバーの「ちよつとこれ！たべてみーだわ！」という商品を紹介していきます。

今回はこれ

今回は加茂町のBistro aubeさんについてお届けします。8年前に加茂中駅の近くにオープンしたフランス料理のレストランです。

店名の「aube（フランス語で夜明けの意味）」は、オーナーシェフの多々納健寿さんが「新しい文化を始めよう」という思いを込めて名付けられました。「ナイフとフォークを使う、おしゃれで自慢できるお店が地元にもあっていいのでは」「幅広い世代の人にフランス料理を食べてもらいたい」と開店当時から

の思いを語られます。「身土不二」をコンセプトに、肉・魚は極力島根県産を使用、野菜は雲南市内の農家から減農薬野菜を直接仕入れ、旬のものを



使った季節感を感じられる料理を提供されて

います。寒い今の季節は、たくさんの野菜が入った「魚のブイヤベース」がおすすめの料理だそう。自家製パンと数種類から選べるハーブティーにも心躍ります。

自家製パンは、予約をすれば毎週木曜日にメニューからお好きなパンを購入できるほか、市内の産直やスーパーでも定期的に販売されています。

ぜひ、家族や友人と一緒に、地元産の品を使ったあたたかいフランス料理を味わってみてはいかがでしょうか。（佐藤博子）



▲魚のブイヤベース



▲マグレ鴨のロースト

営業時間：昼 11:30～14:30
夜 18:00～22:00
定休日：日曜日、祝日、他不定休
問い合わせ先：
住所：加茂町加茂中1300-1
TEL：0854-47-7459



▲Instagram



▲ホームページ

老後生活への備えは十分ですか？



農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金

「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

- 農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です！
- 一定の要件を満たす方には、**月額最大1万円の保険料補助**
- 35歳未満の方は**1万円から加入可能！** ※要件有
- 加入で大きな節税効果！保険料は**全額社会保険料控除の対象**



詳しくは... 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



ご自分で簡単！
金額の試算はこちらから→



※詳しくは農業委員会かお近くのJAへ！

編集後記

昨年は異常な暑さが続き、猛暑を超えて酷暑というぐらいの暑さの中で、盆明けから稲刈りが始まりましたが、米の品質低下や地域によつてはカメムシ被害が多発するなど大変だったと聞いています。

その中でも米不足から米の販売価格は大きく高騰したことで、生産農家の皆さんにとって少し安心につながったのではないでしょう。

今年も異常な暑さが続くかもしれませんが、農家の皆さんにとって良い年となることを祈っています。（M・T）

空き農地バンク 登録状況

令和6年10月更新

◆大東町西阿用で新規登録がありました！

所在地	筆数	地目	所在地	筆数	地目
大東町大東	3筆	田1筆、畑2筆	木次町上熊谷	5筆	田2筆、畑3筆
大東町新庄	5筆	田3筆、畑2筆	木次町東日登	1筆	田
大東町下佐世	2筆	畑	木次町西日登	6筆	田4筆、畑2筆
大東町西阿用	8筆	田	木次町平田	8筆	田
大東町須賀	5筆	田	三刀屋町三刀屋	2筆	田

◆農業委員会ホームページで詳しい情報を公開しています



▲ホームページはこちらから

ホームページからは農地の写真も確認できます。
貸したい方・借りたい方は、農業委員会へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

農業委員会事務局
Tel 0854-40-1092